

ビジネスアイデアの概要

【課題】 XRデバイスに専用コントローラーが乱立し、学習コスト・相互運用性・設計コストの問題が普及の壁となっている。

【解決策】 XRデバイスユーザー・開発者を対象として、**スマートウォッチ1台で全XRデバイスを統一操作**できる「運動認知推定AI技術」の事業化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ① **有効性検証**：ジェスチャー認識対応数・精度向上 & 複数XRデバイスとの接続実証
- ② **市場調査**：XR市場・競合技術調査、ターゲット領域の仮説設定・検証
- ③ **プロトタイプ作成**：デモ可能なスマートウォッチ統合インターフェースの開発

事業化の見通し

【実証済み】

手話推定課題で片腕スマートウォッチのみで **約65%**の認識精度/動作開始 **0.8秒前**からの予測を確認

【事業モデル】

プロトタイプ完成後、XRデバイスメーカーへの**技術ライセンス（B2B）**

または開発者向け**サブスクリプションAPI（B2D）**で事業化をめざす。

事業者情報

宮本 拓

大阪大学大学院情報科学研究科



ビジネスアイデア概要図等

コントローラーをスマートウォッチに集約

シームレスな統合



圧倒的な複雑さ

